

最近電報

到着したが今日午後は州統領ムボス氏を政廳に公式訪問次い

告一。

寄附者芳名(第五回)

優秀なる珈琲地帶賣出し

◆當社貸付移民諸君へ

ノロエステ線ルサンビーラ停車場より初まり

エスピゴン迄僅々十三キロメートル

リヨ、フキゲーラ及ベローパの繁茂せるテラ

リオーシャ地帶

モニアルケーレス右の内土地購求

アルケール、金二百五十鉢より金五百鉢迄

は絶対に確實

農市銀行、バンコ、デ、コンメ

ラッパ、佐藤、火之口、中山殿

全金五十鉢

三十鉢

三浦、鑿殿

合計二コントス四〇五ミル

大正十四年十一月

伯國リーグ協會

アーロードの要る人は

カントン機械の要る人は

精米機の要る人は

其他農牧上のある機械の要る人は

モジ、ダス、クルーゼスは恐ら

く第二のサンバウロとなつてゐ

ませう。汽車はサンバウロとの

間を毎日十六回往復し汽車販は

六百レース、一時間で達します

モジ、ダス、クルーゼスは恐ら

く第二のサンバウロとなつてゐ

ませう。汽車はサンバウロとの

間を毎日十六回往復し汽車販は

六百レース、一時間で達

球の弱權

最後 物凄い白兵戦

ミカドに歸す

恒例によつて在伯邦人野球リーグ協会主催の大正十四年度皎島優勝旗争奪戦は十月三十一日に十一月一日の兩日に亘つて聖市アクリマソン公園に於いて開かれた、アニューマス軍選手のだい部分が不幸病魔に見舞は対象の止むなきに到つたのは対象に遺憾の極みであつたが先年の惨敗に懺を呑めるミカド軍と常勝の矜に陶酔せるレヂストロの接戦は観衆をして思はずに汗を握らしむるものがつた、しかし二日に亘るミ軍の奮闘はよくレ軍を完膚なきまでに封じつひに本年度球の弱權はミカド俱樂部の掌中に歸した。

第一回 第一日
第一回 レ軍一死後菊池四球に出て二三連盗、老將筆原三三の意したが頗として承知せず遂に後長棍一振すれば左邪球線に沿ふ痛烈なる二壘打となつて堂々に謀れて死し曲尾三飛、ミ軍齊藤初球を左側に三連打し續く竹下右側に三連打して齊藤を入れ舉生還、尚好望に見えたが二者三振後福田三盜に死す、だが一打點をリードして攻勢を示す、(レ一、ミ二)

第二回 レ軍二死で松本の安打點を附め、中堅又三連打へ悪投し村田本轍にころげ込んで一點を拾ふミカド西郷第一球を中堅深く打込まれば不思議や野手の姿は見出で二三進後筆原兩度のえす野次の一人放屁中の彼を見入らず(レ〇、ミ一)第三回レヂストロ二着二振後菊池打

二壘打を中右間に放ち曲尾又左中間に大きく三連打して筆原を無量の態、結局三連打となる一

退し兩軍同點となる。ミカド竹下遊三を抜いたか、盜に死し後

翼テキサスに出たが、盜に死し後

第五回 下遊三を抜いたか、盜に死し後

封殺野村二盗後村田の一二間

安打に長驅生還再び一點をリードす(レ〇、ミ一)

第四回 第五回 レヂストロ二死後菊池ま

に封殺野村二盗後村田の一二間

レ軍無爲ミカド神田左

の遊ゴロに村田三盜に死んだが

翼テキサスに出了が野村の投捕

野村還り二點を入れて應援團を

に達し筆原の中前安打に還つて

出す。先生一件を握つて感がい

ます

中間

に大き

く三連

打

して

筆原

を

左

に

右

に

左

に

右

に

左

に

右

に

左

に

右

に

左

に

右

に

左

に

右

に

左

に

右

に

左

に

右

に

左

に

右

に

左

に

右

に

左

に

右

農産物仲買商

ドール等の取次販賣も致し

アルセリコ、サルバ

噴霧器ベルデバ

リス

セ、セザル

ル

、セザル

事務所

ソロカバナ隊ブレジアン

サン

ス

、アス

、ダ

、カミズ

、ナ

、セ

、シ

、ダ

、テ

、六

、二

、六

、七

、七

、八

、九

、九

、十

、十

、十一

、十一

、十二

、十二

、十三

、十三

、十四

、十四

、十五

、十五

、十六

、十六

、十七

、十七

、十八

、十八

、十九

、十九

、二十

、二十

、二十

、二十

、二十

、二十

、二十

、二十

、二十

